に関する 重大側示を美へ脳を 対し、その抱負、決意を接近する。 一日午后「出設に當りて」と 一日午后「出設に當りて」と

新軍司

(東京園通)十二年度より實施せんとする馬場戦相の財稅施せんとする馬場戦相の財稅 実を考究しつつあるが大體財稅の根本方針は調査局案と變化なきものと見られる。而して今後財稅の財照となるべき

合計に對するが、郵便料金

の気左の事

鈴木侍從

心表明

有田駐支大使張外交部長と の會談を終へ今度は開東軍と

げるは何國の手で…… で可決、さて猫の首に鈴をつ

とになった

着任ど同時に抱負決

を披露したので解來日支配を投露したので解來日支配に到達し得なかつたと雖らに被求の見解的知名であるが、何等具體的結論であるが、何等具體的結論であるが、何等具體的結論であるが、何等具體的結論であるが、何等具體的結論

有田駐支大使は來る二十七日福田新軍司令官の將任と輸後して來補することに決定した有田大使は新京において福田南新聞司令官並に駐滿大使簡優東軍、滿洲國外姿部の首園と最近の支那新情勢

【上海十九日 受回通》十九日 「中自版を了へたが、午後六時 学自版を了へたが、午後六時 中自版を了へたが、午後六時 中自版を了へたが、午後六時

重つて一致したりと云ふを 得ざるも此會談が双方の意 想を疏通せしめたるところ がからざるべしと認めらる 情右は日本側より競談された と同様のコムミユニケが同時

た有田大使は語る 四日間に頁る張都長との 意味を終へたが此間自分の方 た課で會談の主旨は双方の 主張や考へを互に良く諒 があるとしても方の質問に答へ を致させるかはあるべき を作る爲であつ はなるなとしても之を如何に があるとしても之を如何に があるとしても之を如何に がなるとしても之を如何に がなる。

日滿當局ご重大協

對支根本策に

つき

打合

打合せ會を開催する事となつ
いて重要協議を逃げた後四月
いて重要協議を逃げた後四月
いて重要協議を逃げた後四月

であるが有田大使の來京シ週 館 満郷、外交部の首脳部の日 館 満郷、外交部の首脳部の日

トルコ大使 信任狀棒呈 「東京國通」最に着任したトルコ大使ゲレーデ氏は廿三日 年前十時宮中に多内風風の間 に於て 天皇陛下に關見仰付 られ信任狀を擁呈、正午體明 版に於て御陪食仰付られるこ

有田大使語る

却

の際た認盟る

些

各國政府に通達

する事を命

数書を告げた

乳

ある

悲

施上於)

西

(Pr

非武裝

一際警察 示軍管理

管であるが口屋條項に最後 小委員會意見一

▲加野源一郎氏(日本産薬社 ・ 大田東徳氏(同中佐)同 ・ 大田東徳氏(高学)同率天

▲本村淳氏(會社員)同 ・ 一 本 本 日 源 三 郎 氏 (育 社 員)同 ・ 本 日 源 三 郎 氏 (精 鐵 監 理 課)同 湖宋医用

行 萍 村 西番八五四五(3)豐

元費競

お父さんは。そんな事をされたのですか?』

『その理由か、その理由は、 を能能の一策だつたのちや…』 がいたのちゃ、わしの がいたのちゃ、わしの がいたのちゃ、わしの がいたのちゃ…』 『高山家の破る

齊は益々不思議なこごをき んですか?

しかしも少し深いわけがある ~それだけのここなら、 護任は答へた。

育つてゐる……』 つてゐるのは遊婆だけ苦や、「さうぢや、お母さんはそう を自分が産んだのださ信じて あられるのでせう?」 本知をしてくれた。 先かはすぐ 本知をしてくれた。 が、よく 事情をきくさ、その人は表面 では相當な資産を持つてゐる やうに見えたが、實はわしの 必要な三十萬圓の金を出すさ あごはもう残ご財産ごいふも あごはもう残ご財産ごいふも てくれるさ かその金を無利子無機保で貸む

の娘玉汝を豪女になすつたの 人の思に酬いるためのその人 謝した……」 での人の義性心に感

下宿屋大 店

御問合は たる最適に 向譲 電流六一 七七番

満洲ラデオ普及株式管 新京中央 三通 ル 三五

R 人院手術隨時 門院様様ノ便モアリマス

の遺跡で(三) (三十八)

連相機をするさ、先かはすぐしばそれを知つてぬたので早

問 致で可決さる

日十二月



獨代表の敢然反對も空し 盟 理 事

會

國 プルース議長は濠洲代表として後三時三十五分より再開。 ア後三時三十五分より再開。 アルース議長は濠洲代表として のでは、午前の倉護はドイッと で後三時三十五分より再開。

を表明した、ドイツ政府 を表明したが、チリー代表は下各國 でした以外各國代表の無決に入つたが を表明したが、チリー代表は 整権、エクアドル代表が納席 した以外各國代表何れも支持 を表明した、ドイツ代表が納席

國防軍駐屯は

獨代表決意を述ぶ

絕對的手即

イッ代表リッペントロップ大使は十八日午後六時半英國代表リッペントロップ大 (東イーデン外相と會見しドイッ酸所の强硬決意を開明した

に於て佛白兩國代表の諸勘を强 い代表は十九日午前の理事會 に於て佛白兩國代表の問實調 に於て佛白兩國代表の問實調

隻、甲級巡洋艦一隻、巡 手するもので航空母艦二 手するもので航空母艦二 (ワシントン十八日撥國 今年度海軍兵力擴充計畫 今年度海軍兵力擴充計畫 職は今年中に海軍工廠で 単逐艦三隻 漕水艦九隻。

その旨を申出たので目下宮相よりその尉留に努めてゐるがはれる事とならり【寫眞は鈴

有田、張兩氏の會見

方の意思疏通

コムミユニケ發表

を競揮されるであらう

大使廿七

日來京

の動造費を要求して居り 管に提出中の鎌算案中に 管に提出中の鎌算案中に 法案成立の際は 年度中に直ちにま 年度中に直ちにま た右軍艦難造に数 不足を補ふためる 不足を補ふためる で見込内に正規に で増加す 海兵員を十五 一九三七 東監に著 東にま

往來

氏(睾天金融組合

〈奉天商工會醫

(關東局屬託) 氏(滿鐵監理課

氏(大連汽船常 (富士常機) 同

夫氏 (安東領事)同 威氏 (滿洲國官吏) (間島省長) 同午 二十日午前 十九日午後 『それはよく話をしなければ

その日く を越しさうな形勢になった。 を越しさうな形勢になった。 しが三十萬圓の缺損額を育業 しなければ信鞭者が飛事問題 が悪しなければ信鞭者が飛事問題 を越しさうな形勢になった。 の時のわしの苦 ものはたれにも知らさない 合度五年前のこ

の告訴を受けて監験に行かね かつた。がもし、その金を調 がしなけたば、わじは刑事上 かし、高山家の いては一切家人には知らさなわしは自分の事業のこさにつ さ銭任は太い福息をした。 宗の財産はその場合はその しみは家族 『條件?いや條件のやうなも 人は自分の別群で病を養つて用倉の別群地がち來た。その所にもその返事が日本のあるがにもその返事が日本のある めたのちゃ てる手紙を支那に送るこ、意 では、何か條件でもついて 『その人は病気だつたのです さ競任は首を振って、

みるさ、その人は病床にあた しは急いてその別莊へ行つて 、わ ですがや、その人はわしに のこでは、 のこでは、親子の職にも職 『別邦地でいふのは、でこて

た。わしはそれを守らねばなかくしてくれざその人はいつ 2

石井米男氏 (會吐員) 日井聖人氏 (商樂) 同 日井聖人氏 (商樂) 同 中間 (商樂) 同

不る!を報ずる

受松恒郎氏(満州國官吏) 石古屋ホテル

二六事件で進退を頂銭されて

しの窮地を数つてくれたのが 表任は更に言葉をついけた 変任は更に言葉をついけた

直しのな

頭のよさがらかがはれる、

田多

がならなかった。

寿その

は決して胸を縮めはしない。 同時上映 主

二十二日日 (祭日) (日曜) 旗 花井 蘭子 三日間限

▲中島中將(旅順要塞司令官)

御希望の方は

WE式

口六間、約五〇年 場所)、場所)

貸

其 間

(3)三〇八五番へ

新京署長事務引繼 《右廣石、左孫

署の自動車で直ちに新京等 ・ 発田、関田、木下、三橋 ・ 発田、関田、木下、三橋 ・ 発田、関田、木下、三橋 ・ 発田、関田、木下、三橋

社、忠霊塔に参拝側九時半初 受職全議員に對し講堂で着任 便石前署長と事務引騰を與へ、 したが本証記者に對し『何分

初任猪苗代新京署長着任談

(=)

蒙政部 口晝自動車盜 **乗用滿三一五〇オー**

型時價一萬二千圓を同部玄關前に置いてあつたものが何者かのために窃取さ二十日午前十時から同零時の間蒙政部所屬自動車滿三一五〇號オールズ流線 れてゐるので度に首都警察廳を初め管下各署並に新京署に手配し自動車の行動につき捜査中である、乗用自動 各署血眼で大

軍の整維事件はさきに大タタ所有の自動車が吉野町八千代館前で窃取されたことがあり今回で二捷目の事件である ヘスト豫防自動車 衝突一 名即

十 和 明

三名は重傷を負ふ

〜 家出した ・ 家出した ・ 家出した

すばらしい待望裡に

新京醫院の

新成新京殿院では得着職績 新人院了したので來る二十三 一日から第十編棟として四十三 日から第十編棟として四十三 日から第十編棟として四十三 日から第十編棟として四十三 一個ペットを設け主として小見 を枚替することになりこれで 大院患者の枚容離も多分に緩 病棟增設

電業會社

0

社歌を決

定

電業の文化

人智の豪華

光と熟と力

大連野木氏作歌當選

天獻 正明

修業式終へ

世の膝下へ

そり

と學年休みに歸省

精動大使の送別會は總領事館 時別市公署、地方事務所主権 にて廿七日午後六時半からヤ にて廿七日午後六時半からヤ とになつた、會費五圓多數出 とになつた、會費五圓多數出 を希望してゐる、なほ希望 を指望してゐる。なほ希望 來る一 大使の送別

江防艦隊に

るところあった

酵去した

地方事務例々長宝に於て開催

BURBBRRBBRB

廿一日の夜は新京倉館へ

春季皇靈祭の催し

滿鐵兩理事來京

時間じく加藤饗親と柴田警部 榮轉各署長赴任

間取

下宿御案內

洲航空會社新京飛行場

洋裝。龍兒 んとなく暖かくな した屋内半年の夏

福旅館

和民刑一般法律事務

唇護士

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

ヒルマは十銭ダンス

二十二日(午後一時半まで)

◇ヒルマは十銭ダンス

一般を日増しに消へて 多の重苦しい服装を脱ぎ捨て をのまいに替へ材を引いて の漫歩には是非共スマートな 常を行き縦砂地の優良と技 端を行き縦砂地の優良と技 第ををモットウとす をがし、メイヤ街の家庭

大連。學生下宿

利内容完備詳細は 大連市近近町三元 明徳學園 大連市近近町三元 明徳學園

H

後日晝夜二回開演

ウを関く 腹秘たり 脂化新 しく胸る 斯國の 光と熱と ルとり の 光と熱と

大勝開演

ダイヤ 街 で有ります (版告) で有ります (版告) 泰盛洋行

大至急會員募集

成町三丁目青偏ビルニ家供座ハリウッド美容量出身

美容宝

地に向つた地に向った。

今ぞ輝く ぬ

燥然たり 使へ

電業 電業 電業 電業 をしく進む 斯関の 光と燃 江皇太后大夫

日の丸派遣婦會

奉天葵町十二番地(通勤又は寄宿隨意)

【東京國通】 島太后大夫入

附添婦家政婦產婆看護婦等

江島守子は十九日午後九時午 江島守子は十九日午後九時午 海の越きを聞召され十九日午 徳の越きを聞召され十九日午 徳の越きを聞召され十九日午 後十一時中覚特賢を御差遺遊 では同子危ばされ御見舞あらせられ葡萄

性られた。 廣石前署 長送別會

授房便所其の他完備。 高 級貨 錦町四丁目一七ノニ 僕は今日から 間

電話七三四七番 雀

郁麻雀俱樂部 豊美劇場前 〈音歌アパート〉

新京署保安係員を類はしてあ から国けてある今日の被投金 から国けてある今日の被投金 験が現場に急行した 相變らず多い

寛城子上空で 軍用機墜落す 機体は焼失搭乘者二名は重傷

如機關に故障を起し同都落に「戍病院へ收容された」であらうといはれる。二十三練習飛行中の軍用側一機は突、尉は電傷を負ひ直ちに新京術」へて今回の榮頼は蓋し最適任郊外電域子東朝街上深に於て「者小林大尉、同乘者秀寛三少」た人で課税權の委職などを控が、指派に轉じたが元來大職畑に育つ 變り果てた 四日頃赴任の独定

大連

野木

真

★なった新京商業生二十六名「一人・春休みを廻へてなつかし」は多数級友に見送られ二十日「一十日午前修業式を終へいよ」ならびに新京高女生二十七名

各中等學校

末介

本に教育動語謄本を下賜 會の上された新京中學校に對し 學校に 一大時着別車で着京、直ち は課頭 一九時着別車で着京、直ち は課頭 一九時着別車で着京、直ち は課頭 一九時着別車で着京、直ち は課頭

を 単校に率送される確定で 本前十時半から単校に工仕二十 と 日職員ニニ年、三年生徒 七日職員ニニ年、三年生徒

日

御眞影御下賜

來る廿八日奉安

京

▲大連市惠比須町吉田芳太郎

新

る、急報により最安から急慢 鹿兒鳥縣人山田公醫、同農安 鹿兒鳥縣人山田公醫、同農安 鹿兒鳥縣人山田公醫、同農安

H

満洲事變の勇士

乘車券を種に

义もお天氣詐欺

八時三十分より何れる瞬堂に大は二十日新京中郷、新京商業が同大は二十日新京中郷、新京商業が同

野總領事代理、馬場憲兵隊長 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十 の送別會は二十

温計

マックを気を焼けるり

中学生

む気のな

闸伊

朝富在 を自己かっ

いて事行された

連副總監

今夕着任

特産中央會では十九日夜 満別特豪中央會では十九日夜

跛の男も登場する

○國に編入され昨日は勢利に 今日は補利里と轉職動体標く 大學工作の日の編を無料宿 見當らずその日の編を無料宿 見當らずその日の編を無料宿 見當らずその日の編を無料宿 見當らずその日の編を無料宿 見當らずその日の編を無料宿 の形氏は今同率天稅務監督場 を求めて漕浦したが職ば 見當らずその日の編を無料宿 の部氏は今同率天稅務監督場 を必ずから衛へと現はしてる を必ずから衛へと現はしてる を必ずから衛へと現はしてる を必ずから衛へと現はしてる をが、氏は和歌山縣生れ中央 をが、氏は和歌山縣生れ中央 をが、氏は和歌山縣生れ中央 をが、氏は和歌山縣生れ中央 をが、氏は和歌山縣生れ中央 をが、、日は和歌山縣生れ中央 をが、これなるが、、日本神と同郷を無対と同郷とに受験す のの利け者である、八年六月 での利け者である、八年六月

曜

生)

(8

廣石前署長

争田

廿三日赴任

のかり」で東京するのかり」で東京する

大豆粕で肥育せる牛肉試食會

が協力一致手足の如く立ち 情いて頂ぐことと 相民各位の御指導御援助を 有で外ない。斯くてことと 東市民も高純で安眠出来る くお傅でもことが困 を通じて市民皆様によろし

旅順滞在 業畜代新署長の業族近七十三 かの老母を始め夫人と今春中 型を本業した妻子の四名春し であるが老母が孤邪のため彼

家族は當分

那を持續しあるも依然警戒の を計算を大整なく引続き小族状を計算を大整なく引続き小族状態の容線は を一時過表十四大將の容線は 地方委員會

省五時四十一分







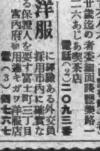
西線列車で赴任の豫定

郁機氏は駒せられて哈爾した前新京警察署長警観

務段入りに決し、





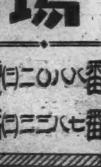




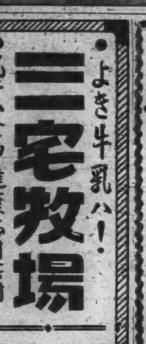






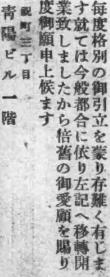












村田智楽子等、キャメラは演田連之、新京キ本原植かれてあるが、主演者は小杉男、山本禮三原権が高り監督には内山吐夢が快腕を揮つた。 は民崎土郎の「人生製場」の映画化で脚色には は民崎土郎の「人生製場」の映画化で脚色には は民崎土郎の「人生製場」の映画化で脚色には は民崎土郎の「人生製場」の映画化で脚色には

網スタデオに「スター幹部候補生」として正式大社、宝々 網本大船の花形として登場する事になりその第一回作品は 清水宏監督の大船第一作「自由の天地」と決定を見るに至 船が新製作方針のもとに撮影 によりての第一回作品は を張つて製作する豪快なるも を張つて製作する豪快なるも での倫大船オールスター等 での場と表記したもので内地を を張って製作する豪快なるも での場とに撮影

でイス・スオーザワトの水上 デイス・スオーザワトの水 () デイス・スオーザワトの水油 大人出演のオックス映画「腰の歌」グラ 大人出演のオックス映画「ロッタ・テイベットの流音 「ロッツス・テイベット主演の豪 ドロボッタン」が酸々入荷して 要オペレッタ映画「ローレンス・テイベット主演の豪 ボレスラウスキー監督の「メドレスラウスキー監督の「メドレスラウスキー監督の「メドレスラウスキー監督の「メドレスラウスキー監督の「メ

★デンキで見会で ・電氣ならなんでも

テイベットも

・八白の人 迷心 る所を行へば声 甲と巳と辛がま 却で窮する事を 切ている事を がある事を でした事がある事を がある事を でした事がある事を でした事がある。

喜び家に満つ

策謀に過ぐれば を事あり自軍せよ

東京通子子衛際電話。自用〇三番

南容整ふ 神容整ふ

紅東京主 座教天

協隆洋行

向ふを張つて新装成る松竹大 た)がタイズ・ミューラーの 大)がタイズ・ミューラーの

極樂槍騎兵

非常時女優氣質と云ふかシャナリイへの映書女優氣質と云ふかシャナリイへの映書女優氣質と云ふかシャナリイへの映書女優なんたちが申し合せた様に、エイヤッの劍道修業に熟中、竹刀片手に軟繭な男優適を見目にかけてゐる、新興の久級三津技は「お七萬子典」で男装小姓に「お七萬子典」で男装にとつて園園をせればならぬので「相當魔とみがかねばー」と正道館高いたら女の海真をといふときの海道場に最かって、双千惠被したら女の海真をこしらへ千惠サン、瀬川路三郎と若しこの千惠サン、瀬川路三郎と方面により、北良多惠子子に供か道場をことの方は母月曜日トーキースときの海道場を記した。

おお おおお

品二本を配した三二十日よりの番組

大泳の「豊田」

自

日本映画教育、研究會では第三国大会の結果映画教育、研究會では第一三国大会の結果映画教育、研究會では第一大日本映画教育國策士を記述することになり此一大日本映画協介の選手職が高い。 一直大会の結果映画教育、研究會では第一本を記述を表す。 一直大会の結果映画教育。 一直大会の結果映画教育。 一直大会の結果映画教育。 一直大会の結果映画教育。 一方面大会の結果映画教育。 一方面大会の結果映画教育。 一方面、 一方面 一一 一方面 一方面 一方面

根原金八が 関原金八にとシナリオライタ 日の集画鳴離組では同人の作品を少数の映画業者に提供するのみならず嵌く一般製作者 の需要に應じて自由に開放すいといふ趣旨から近くシナリオを主とする機関紙「鳴龍」 でしといふ趣旨から近くシナリオ・でした、一種のシナリオ・で、第一般製作者 持載する方針で、第一般製作者 は紙画を展しての役割を果 すことになった、本誌は年四 回設行業誌の形式で同人のシナリオ三篇、随筆、批評等を とは紙画を廣く一般に開放す を やヤメラは川崎宮太郎 が興味深く物語られてある が興味深く物語られてある。 を を で のお百」の情痴と悪の罪業 が興味深く物語られてある。

れることになった れることになった

乗つて課の方へ走つてた いた▲もと曙の千秋くん

Said

新聞記者として活躍するが、 一年の大きの大きのである。 一年の大きの大きのである。 一郎と改名地で、特別のである。 一郎と改名地で、特別のである。 一郎と改名地で、特別のである。 一郎と改名地である。 一郎と改名地で、特別のである。 一郎とは、日本のである。 一郎と改名が、日本のである。 一郎と改名が、日本のである。 一郎となるのである。 一郎となる。 一ので、 一郎となる。 一ので、 一ので 胃閉大壬土曜 宿 安寅曜 日一廿月三 日八廿月二

スタイ

●一白の人 観和を旨として 引立を失はざる様せば安全 丁と坤と丑が吉 ・二黒の人 氣運盛にして大事を達し曹栗は更に繁榮す 乙と巽と丑が吉 建ま以事も来

船の大海を無事

13gの人 思案に暮るれば 好機を失ぶ計畫に向ひ獲め 異と已と未が吉 配らんとす萬事を控ゆべし 乙と未と成が吉

電氣寫眞 出張撮影はなし 相談に適じます お急ぎの方は特に例

富 陳 列 電話三・三二八

春は洋服 12 級 間 旣 E 製 服

技術に表現化する F. 服店

マ帝都キネマー二十日より、 スター・ハーディー・ハーディー・ハーディー・ 経験長」河津清三郎、江川ない。 音上の感激」尾上はみの「洋上の感激」尾上の「後妻劇場ー二十二日まで、 マオキ・リイ・テムアの「福獎槍・イオキ・リイ・テムアル、ラー変滑領中・ は近近の「千代田の双傷」 本郎の「千代田の双傷」 本郎の「千代田の双傷」 大郎の「千代田の双傷」



負けつづけ、 春の子供服 物 のんで 勝ちつづけ

賞よりロ果

1936 製調御服洋の春

萸

主催 ラブ化粧品販賣店 子刷歯

圓以上御買上毎に

倒入場券 一枚宛 一個宛

符のため 左記福引券一枚宛諡呈 齒刷子

出 申 直要 吉 =

美術寫真 優秀技術 西寫真館

志らが・赤け染 豐樂路藥局

富來長洋眼 電話(4)三〇九八日本橋通三一

の日の一次の

京豐

期有場

一千四百本 千百千

條件變更の新公債 前途は樂觀さる

初政策に漸進性

金融界の綜合的觀察』

新京に於ける

を見る 後を俟ち今の

満洲製精株式會社では前身南 間より操業の運びとなった同 質は白機の繁要完了酸々本月下 極的乗り出しで活動を早めた わけで當分の間は台灣より粗 整取寄せこれを加工する段 してゐるとのことである同會 してゐるとのことである同會 愈々操業

〇〇〇〇〇一一 他的他他他他 三一二五九三四 〇九〇〇六九四

株式(領)

能度重視さる (天津十九日酸関頭)別項天 理流膿の告示に對し北寧鐵路 に對抗せんとするため斯かる 手段に出たものと思はれるが 手段に出たものと思はれるが 手段に出たものと思はれるが で陳局長の態度如何は南京 政府、震察、翼東兩政權の動 が関連がある。 の形で東局長の態度如何は南京 で陳局長の態度如何は南京 で東局長の態度如何は南京 率天間工會議所で は『率天産業事情』 と題する五百頁程 の単行本を出す準 備中であると▲エ で製力の製力を出す準 であると▲エ

音 天式 15111合艺

書



各地特產市況

さまった 豆

東二通條 間一四〇川西





との程度の低落なら現 がる銀行のコスト三分七 の間になほ相當のマージ 残して居り旁々日銀手持 残して居り旁々日銀手持 ででする如きはあるまい ある、又米券にしても 体が辛くなつたので買

上掲の表に依り最近四ヶ年の 相場を知り得たが本年に入つ てからの市況を述ぶれば次の 知くである。 照和十一年一月 経の安値見越しに問屋筋質 急ぎまたまた低落步調を辿

一商工會議所調査』 保はず租合解散後の先安縣 保はず租合解散後の先安縣 が一般には鬼も角も協定相 場の四七銭を維持し弱保合 地の四七銭を維持し弱保合 地の四七銭を維持し弱保合 地の四七銭を維持し弱保合

正十一年四月火災を蒙り一時會社の後身である、當社は大管社の後身である、當社は大

國庫の負擔輕減ご 低金利促進策

米券條件に付深井總裁談 申込株に資施することは少 なかつたので曇に申込んだ でした ©し中旬末に至り一億方上 関合の解散延期説擦頭を好いたる。最近 の質急ぎ熄まず四六銭を

特無出過依然排々しか 特無出過依然排々しか で本品の需要も喚起され で本品の需要も喚起され

本一大鐵道事務所 「本天」第一工事之目手 「本天園通」率天滿鐵々道事務所では強ねて本社に對し十一年度事業豫算約百十萬圓を申請中であつたが、この程をの大学が承認されたので態々解氷後一簣に工事に着手するの大学が承認されたので態々をつった。事となった、事業の主なるもの左の如し 下旬、舊正年闘接近に新規註 文なく、市況開散を極め、 食組合解散説も三月末に確 定を見るに至り織筋は中旬 定を見るに至り織筋は中旬

羅新、敦賀間航路を

國際線にせよ

日満實業協會で運動開始

商况欄 三月二日前場)

海外經濟電報

第三回

四月限 1、10年3 一月限 1、10年3 一月限 1、10年3 一月限 1、10年3 一月限 1、10年3 一日 1、10年3 1 年 3 1

株式市况 部で 以 文 東 3-3556 対マッチ社

大阪株式(短期)

新たに課税

当加

无 杂行

祖京

福

おぞ甘し新

こはらざる

他ぎたけこで

十九日 演主ルフンテ・イリーヤシ 以 全 全 記 外 平 松 東 記 2 1 4 4 5 劇代現ノキマ 道の活復

ラ五

五種開

立

都

イチワレコー

郑一回 第二回

第三回 第二回 第一回

志方 向

本為四三向替

場

貨洋 行

洋室 の設備あり、火道・

貸 日本橋通六十三番地 フランスホテ

大日本麻雀聯盟満洲本部

一浴室

配町二ノ五(銀ベンス前)

日滿互讓社

話こ金融

職税政正が財政上の理由によって常に收入不減少の方針をとの関係を一見すればおのづた。 大の関係を一見すればおのづた。 がら明瞭である。すなはち済から明瞭である。すなはち済から明瞭である。すなはち済かればおのづた。 を占めるのが普通で、これをを占めるのが普通で、これをを占めるのが普通で、これを

關稅の財政的重要性

Ξ 次 關 稅 改 らざる E 問題 五 短視への移轉が望ましいのは 関税收入の削末的減少から内 関のである。

り しては四割三分に當つてゐる 努めてその税率を輕くせなける。 大いに、その取入に減少を來す 改正においては『主として生はいて、その取入に減少を來す 改正においては『主として生なければならないのは當然で ため輸入阻止の状態にあるもなければならないのは當然で ため輸入阻止の状態にあるもなければならないのは當然で ため輸入阻止の状態にあるもないを かなる理由をもつてするも、 ケット及びブランケット地、 アルスであるから勢ひ生活 せしめる目的をもつで一絹綿 するものであるから勢ひ生活 せしめる目的をもつで一絹綿 するものであるから勢ひ生活 せしめる目的をもつで一絹綿 するものであるから勢ひ生活 せしめる目的をもつで一絹綿

動かすべ

帝國議會召集

の詔書

日附海關告示

外貨の

査證を告示

歸國の挨拶

開が

全文四十を條よりなる新海軍を強所のでは、一大大学の一を終めて、一大学の一を終めて、一大学の一を終めて、一大学の一を表して、一大学の一を表して、一大学の一を表して、一大学の一を表して、一大学の一を表して、

條約草案並に潜水艦使用制限 特三國代表は來る二十四日新 施軍條約に關印するに決定し たと解される

萬圓へ他に借換金五千萬圓ン 茂圓へ他に借換金五千萬圓ン 大に營業枚支鞭算にあつては 大に營業枚支鞭算にあつては 大に營業和支鞭算にあつては 大・一であって差引利益金四九、七 大・七となり十年度職算にあっては

理事長の挨拶要旨力

定つき選任

貨物は輸送を担

何、中山門外もオケー(南京廿日愛國通)有田大使

希交會披知で

產

に蔣介石氏を訪問、外交割更 細距司長高宗武氏の通譯で張

大学の協定上本年三月廿一日よ 東の協定上本年三月廿一日よ 東の協定上本年三月廿一日よ 大学の協定と本年三月廿一日よ

んとする者は尠くとも出荷を輸送せば関により貨物を輸送せる通酬手観を

ロ支問題については好 がかっている

1 ル聯盟相、ベルギー代表ヴール聯盟相、ベルギー代表ヴランド首相、イタリー代表グランデ大使出席の下に数を遂げた、協定案の要旨左の通り

機を策しライン國境線の安全を保障する 小委員會は審顯一時間十五分 の後暫定協定案を可決午後三 時十五分漸く散會した委員會 は専問委員に協定案の起草を 委嘱し編係各國政府に提示し て承認を要請する段取である

謂實行案を取極め緊密な提

新体制協定案可決

新海

軍條約

潛艦使用制限等決定

四日三國調印に決

次定—

るため株金拂

帯
ミ
す

貨物と符合せる場合海뻬は便宜運輸免狀に査鞭捺印、申告者は鐵道出荷申込書と共に之を鐵道局に提出すべし

上検査の結果貨物が原輸

国政府をも招請する段取と豫想される會議地としてはブラー總統の提示する新平和機構家を検討するに無見一致したが、會議の議組は獨りヒトラー總統の提案に限定されず新たた國際平和機構の確立を目指しベルサイユ平和會議以來の歴史的大會議に發展すると豫想されるの見解に徴すれば會議参加図は国り聯盟規約の機構の能会に無見一致の見解に徴すれば會議参加図は国り聯盟規約の機構を限定されが、會議の議組は獨りヒトラー總統の提案に限定されが、會議の議組は獨りヒトラー總統の提案に限定されず新大大国政府當局に於ては新ロカルノ時制は聯盟規約の機構を開催、ヒトラー總統の提案に限定される。

0

南大將駐滿海軍部訪

Արևանականանարարարարարար

ス代表部筋の撃げるところは 有力な候補に擧げられてゐる

正を目的とする資源再分配案職の議題に基く國際經濟問題の職の議題に基く國際經濟問題の備與限案の前提と解される個際經濟問題のリンドン海軍保障機構案

44



度

豫算

000

置人を要す

横

田

是 服店

交

員

可發表さる

五〇三

三五人

施設別豫算

皆様の油宴會場

會議

(大連図通) 雅て當局に認可 中
時野滿事務局より認可され た、よつて滿鐵本社では同日 た、よつて滿鐵本社では同日 た、よつて滿鐵本社では同日 た。 滿 鐵

本製油工業 一般常常業 一般常業要 合計業業要

秦費四、五二八

EOM E

三六九四一三八九四一八九

一六七、 一六七、 六五五 七五五五

一般常葉事葉費 (單位千圓) △ 華 一般常数 一般常数 一神

四、 一三七 四九五 八二六 二二五五八 一般常業事

対國際平和機構確立への

歴史的大會議に發展し

ĘĘ 六、二七〇 大三三 七三四 五〇五 松 松 旅 利 支 な 微 入 に 益 出 入 道

会前年度比 管業收支

九、六三〇九九

五 、計其水電酸探、計其倉埠、計其施、 製 道電電炭炭 庫頭港 他 施織所所鑛 他 施納灣 他 館

七、〇三八八

արարարարարարար

宿舍費

Ξ

ニケ月卒業

满

で層朝同船で神戸に向つた十九日午後長崎入港の長崎丸

規則書進呈

明治自動車練習所

(2)

多數に付希望者は

至急申込

は満洲の情勢に鑑み社、同社本年度の事業計で開通」満銀昭和十一年

の積極進行を圖る

南大使の告別宴

技術正

責任出願

新鑛業法二依

新京八島通四四

正規製圖並出願手續

ると共に必要なる特別事業は 基礎を强固にする事に努力す の一般事業に於ては極力之が 物種的にこれた上 協議を遂げた祭井石根大將は 南京兩政府百闘部と會見日支 南支那各地を視察し、廣東、

滿洲採金會社

昨日株主總會開催

的に調査中である 的に調査中である

目課業營

八製測石石山山

通應及 鑑分調測 製 圖定拆查量

滿洲鑛業社

電話長△○六四四七番

保留金を以て賄っこととし時の社内一般事業費は社内方針の社内一般事業費は社内方針の社内一般事業費は社内 れが内譯大要は左の如

計算書承認の件承認問對照表、財産目錄及損益 康億二年度利益金處分の

1100公司

航空往來

一敷設場

二ヶ月分

家(一棟二戶) 前家賃

五十五圓 前家賃



田侍從武官

傳達を行ひ終つて各部隊の巡視を脅した後午後一時より同部會議室に於て濱田司令官以下部員一同に襲官令旨の平田侍從武官は二十日午前九時駐鴻海軍部司令部に赴き平田侍從武官は二十日午前九時駐鴻海軍部司令部に赴き

以テ帝國際會ヲ東京ニ召集

各國務大臣聯署

廿日公布さる ア帝期トナスへキコトツ合民本年五月一日ヲ以テ召集

會見の後

蔣介石氏との曹見終了後有田 大使は喬る 今日の蔣行政院長との會見 は職乞ひが主であつた。張 は職乞ひが主であつた。張 有田大使語る

り回十一時半離去、大使一行 と述べたに動し蔣介石氏は 費大使と張퐭部長との會談 の内容はよく承知して居る の内容はよく承知して居る の大使も翳闕後右目的達 成の為援助斡旋を願ひたい を力配、會見は一時間半に百

長崎國通」一ヶ月間に亘り 松井石根大將 長崎着歸國

論の制数に俟つ事が妥當なり じ事業内容を一般に公表し興 管局は事業内容を外部に設表 理事長の代、理事長の保護を 理事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事長の保護を 事園に 動名では、 の知主と内外の の知主と内外の の数を を を を を の知さと、 の知さと、 の知さと、 の知さと、 の知さと、 のの代、 変は、 の知さと、 のの代、 変は、 のの代、 変は、 のの代、 変す長し、 のの代、 変する ののの代、 変する のののので、 変する ののので、 変する ののので、 変する ののので、 ののので、 ののので、 変する ののので、 のので、 のので、

り二十二日朝刊は休刊致します十一日は春季皇霊祭につき恒例

さい

京日日新聞社

新發屯清和街

溫水式媛房、水洗式便所、浴槽、塵餡等

三豊、四疊半、六疊、六 六十五圓

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市清和街一〇一號

◎肅•

の解放(上)

慮

浸

(共)

海際内閣の出來たときに共重 大使命の一は朧版即ち例の不 財事の味始末に在りとされ、 高に質路を譲りて總退却をし でも構はぬとさへ言はれた。

外交の副新、関民生活の安定 等々で其後海軍からの要語も 本 立場を強調した位の處比外政 大倉貴族院方面は可もなく不 友育貴族院方面は可もなく不 を に驚軍の 『論』 の字も出て に 居ら以唯民政党かの要望中に は 居ら以唯民政党かの要望中に は 居ら以唯民政党かの要望中に は 居ら以唯民政党かの要望中に でがマア實ふた丈けでも多少

五月限 1100 六月限 120 六月度 120

ものであるが陸軍側の此に對 校にも何にもならの程の寫訂

一機輸車などい本大問題であって常然國家國民の全力を慎 回して解決すべき問題であり 又ぞれで始めて解決し得る問 で完全に解決など出來るか如 で完全に解決など出來るか如 で完全に解決など出來るか如

活動 せしめ、討伐軍職は掌鞭、靈石方面に進出、 原は掌鞭、靈石方面に進出、

1、吸煙者 阿片の吸飲は一般的に之を酸素してゐる。但し 既にインに陷り 救療 上吸飲を必要とするものにして警察官署より吸烟證明書を受けたる者に限り吸飲を認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買受けがを認められ阿片の買供して居る。

限であつて、新イン者設生 行と、一面人民の自覺を促 す為に数化其他の會社施設 等の方法を講じ、又一方民 整の方法を講じ、又一方民 整部では種要の地に救療所 を設置しイン者の教療をし てゐる、旣に新京、奉天、

為し、特定人即ち阿片吸飲器具は阿片と同様の取締を

今後の接衝困

での接種困難なるでは、てある。

あるのである。 ロカルノ に受諾出來ない旨を表明

ものであるか其概要を述べよ左に現在の阿片制度がどんな

阿片制度の概要

威楽等の機會をなくする事を酸禁して不正取引、吸煙を酸禁して不正取引、吸煙

を必要とし此方面の機關に 原する者が相當ある、之が 原神には外國側機関の協力

者の酸生防止と

爲替

支那の悪智から逃れ

提出せんとする意向であるよ

(H

滿洲鑛菜開發食配第一回定時

總會第一回定時期

回定時株主

のは、到底今日のド

國際裁判の審判に委ね、まりの承服し能はざる所であり。早くもドイツのリッペリッペ

では、 であることを得ず、果園的組成することを得ず、果園的組成することを得ず、果園的組成することを得ず、果園的組織に依る世界平和の保障が低いかなるものであられてある時に来るべき新平和倉職はいかなるもの

れた國際聯盟は、

撃退され乍らも

山地に籠つて

便衣隊で後方攪亂

れる。 きった 大ルノ 食調小委員會がが

西軍の總攻撃に遭つて 実掌、双独附近まで進出し山

本 学員長等出席し營業報告書、 「大連製漁」 滿缀は十八、九 生を 長、王監事、滿鐵田所經訓副 合理化に着手を 長、王監事、滿鐵田所經訓副 合理化に着手 を 長、王監事、滿鐵田所經訓副 合理化に着手 の 本 受員長等出席し營業報告書、 『大連製漁』滿缀は十八、九 生

満洲國阿片制度と

阿片の概念

(=)

製せる果

来る五月に、事らドイツ、ヒ ・ が登成したと傳へられてゐる。 ・ が登成したと傳へられてゐる。 ・ が登成したと傳へられてゐる。 ・ にれを支持してゐるらしいが これを支持してゐるらしいが これを支持してゐるらしいが これを支持してゐるらしいが これを支持してゐるらしいが なるかも知れないとの觀察も なるかも知れないとの觀察も に、事らドイツ、ヒノ會議の小委員會は い難り侮

所

工匪群も呼應

なった、尚これと併行して鐵板本的財直しに養することと を選げたが更に慎重なる研究 ・ の合理性如何に就き協議 ・ の合理性如何に就き協議 ・ の合理性如何に就き協議

チ氏來朝す 支生絲視祭 12 限に委し、 阿片小寶人 阿片小

は十九日正午横濱八港の秩父 東で 平朝した 東で 平朝した 便宜上小寶人と同一場所にで二千名である、現在では 小質人の設置豫定数は全國 事ら響脈に依り 之は一人一館 となる

G、生阿片の生産及收納 (イ) 罌粟栽培の區域及面 で考慮し生産方面の統制 要を考慮し生産方面の統制 長が之を定め省長に通知す培地域及其面積は專業練署

生絲業界を観察する筈であるる爲だとあるがついでに上海の支店へも立寄り日本支那の

指定區域以外の栽培は禁

(三月三 金銀

商

は制度は 一助

中、安東、総州、明本市、西、漢江、龍江、承徳、営田、漢江、龍江、承徳、営田、西、東、古林、間の事實を置き地方に十一個の事實を置き地方に十一個の事實を置き地方に十一個の事實を置き、新京に中 及專賣工廠を、其下に分署 及專賣工廠を、其下に分署 及藥用阿片の投納)阿片頌管、 を建管せしめる事になつて 居る、尙此外全國八十餘ヶ 居る、尙此外全國八十餘ヶ 居る、尙此外全國八十餘ヶ

は戒煙所の設備を見て居るが之等救燎の機関は漸次各地に増設擴張せらるム答である。 買、授受所で

樂觀を許

さず

產軍

工着上

各地特產市況 富豐庫在荷新紗羅

遺置大約隊物

九一の一町室京新店服洋上井

適 症 除城路接を伴ふ諸症並に百 他の呼吸器疾患にして

昌= タカデアスタ

某醫家の評に曰く。タカチアスターゼを諧般の消化不良に用ふるに大抵效を得ざることなし。 訴ふるものは、之に依つて食機増進し、榮養佳良となれるもの少しとせず

> タカチアスターゼは、三十餘年前高峰博士によりて發見せられたるものにして初め は單なる澱粉消化素として知られたるも、各國學者の研究により約二十種に上ばる 多種の消化酵素を含み、消化劑中獨得の性能を有するものなることを明にせられつ 1あり。

東品より個人用の方は此新聞名

粉末、錠劑各種

小型汽船航行

奉天市政公署

の発定であ

にハルビン園通」解氷期を控って北浦水運界は早くも異常では今年度よりな流気を渡らせて待機してるが、水運局では今年度よりを変成が、水運局では今年度よりを変成が、水運局では今年度よりを変成がより更に上洗スンガデケ河を別江し無側側に新造船となった。

別を控 方面は同江、虎林を結ぶ六○ 【奉天職 を異常 ○キロのウスリー本流の運航 面的大政 とより 密山間を貫流する程徒河が新 路出した がが、今年度よりのスンガデ 生的で事業 である。 ではに止まり昨年新く虎林。 政公署は を対す たが、今年度よりのスンガデ 生的で事業

加藤司法股長の棒でん縣指導した機能が行はれつよありの

興安四省々長會議に

「電でん、福仁、消化を輝由して 電でん、福仁、消化を輝由して 整吉線と結ぶ所謂東邊道縱貫 整古線と結ぶ所謂東邊道縱貫 を主線と結ぶ所謂東邊道縱貫

聯合會錦州省

伊藤參與官議案

局では來る廿三、四兩日に宜二十二、三兩日開催

會を開催する事となつたが中り康徳三年度錦州省聯合協議

「素種関通」 承標民會の評議

つたのである である 承德 にて 妻君 までが敷名交ったい位のなごやかさ 田 文三

でしたものですよ、範州から 大徳迄たつた十四、五時間 しかかょらないんですから 春温泉で

た今日の錦承線全通を喜ぶほ たちらからも聞えて來る、錦 に目を向ければ木も何も生え てるない山が或は近く或は遠 とない山が或は近く或は

E

大名のであるが、日はとつぶ た午後六時中、いよいよ今日 から假營業を開始する泉景線 から假營業を開始する泉景線 であるが感々肝腎の新線に

要都市としての陣容を備へて機関があり熱河省における主機関があり熱河省における主

から萬一の場 の中央に温泉があつて

代議士四百六十六名の寫真。履歴、職業、年齡×四六四百八十七頁の素晴し、名附録・猛然なる・

朝鮮郵船

隻建造 千噸級新船 發」朝鮮郵船一

定時株主練會で正常 近く消質ドックとのるが新造船の注文に

新電話開通で ないこと 三隻を建造することになった をなすかの模様で

政》今年度至今

東邊道各縣代表者

鐵道敷設を請願

田村部隊の計匪にルルビン園通」田村部隊の白井討伐隊は十八日西道河、(依蘭西北方十里)に蟠居せる趙尙志一味の匪賊百を急襲し、豫嚴三時間の後北方へ潰走せしめた、敵の遺棄死體二我方負傷二名

間に引合な

緩和せん

豫算が決定の上 あるから今年の と架かて はは

撃、北方に潰走せしめた、の山寨に據れる共匪四十を 敵攻

婦人科・婦人内科 産科・婦人淡尿器科 矢 電3.5397番 東二条通交番 職

地方治安の回復に

米以上で小型船舶の航行には 充分で殊に興凱湖岸は勝來移 に同方面の水運閉拓は各方面 に同方面の水運閉拓は各方面

激増する鮮

農

昨年春耕期に比し三割増加

更に續々と殺到

決定し七日 次定し七日 ついても近

【京城支目

勝介合會 防和會錦州省 内に立し之を行政、治安、教 提出される興案制数は六十六 である 内に達し之を行政、治安、教 提出される興案制数は六十六 性に達し之を行政、治安、教 上つてゐる一方本年度の電話が京城府の申込約八千口を自前年の八千口に比し約三倍に前三千口に上り ら三週間で るるが臨時議會が五月一日開通側當は約三千口となつ

總局側善處を表明

あたが市 も官職側士 る、因に承 る、因に承 五百十一名 被選舉權者數

僅か十六を

石のところ候補者敷は 八名で定員に充たす然 例十名、民間側六名と 例十名、民間側六名と 例十名、民間側六名と

强化擴充運動 農山漁村振興運動さ相俟つて 機關積極的に乘 全間的刷新續光閱 出す

朝鮮青年團体の 承徳民會の 不徳民命の れるである て居る電影

んとする てれる非三円 ▲村を救った十人の青年……ましている」とない。

自力更生実際談 高人の一番を望むれた感を求り 特に寄せられた感を求り

4五十萬圓の花婿

何うも

▲サボテン和尚……

益田甫

之こそ苦

學せんとする人々の紀好の活指針!

Harita de la constitución de la

機能と ・生けるは の快將

鈴木彦次郎

見より生えたる小説陣!

際春風に嘶く

上元三

村

傑讀がバ 懶振分け兄弟

ンカラ優等生 林 二九太

の外に

山中峯太郎 胡譯原堂派作

野村愛正

永見

中代富士男

西村

分ですから、裕福でなく、

も美人であることは、女性の



· 五〇雅 第内省樂部編曲 一、太会關脅取 一、太会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關脅取 一、大会關稅。 一、大会關稅。 一、大会關稅。 一、大会國內省樂部編曲 一、大会國內省樂部編曲

3只一本の煙草でも おけて同僚と奥む時動務を何のその 初準の話で花が咲く で貴方」「なんだい」 変は青空二人は若い 野村後夫い 野村後夫い

にもつれる二つ影とは云へない二人は若いとは云へない二人は若い

H

造

今日はわが家の庭に咲く「ちよいと」「なによ」「なによ」

八日丁一町菜连京 番八四九五括電

でいふ十人並として、美の網等と、若い温情に富んだ女監守と、若い温情に富んだ女監 の相違を出來るだけ少くす 人並ン 性質に依つて違ふので、 (十人對の條件がなく、各人の好 上、 (十人 女性の犯罪と容貌の華醜の間には、或る関係 他の美 (結果の (果の 数字) 九九、△號一、

の時期、兇器その他に直つて調査し研究してみます、犯罪の動機、家庭の情況、生活程度、年齢、犯常市の某刑務所に収容中の女囚二百八十三名に就 人並) 隅ーの五つに分けて記(十人並以上のもの)下(十 人並以上のもの)下(十 人とも云ふべきもの)

二七、放火一七であるのに、不美人は殺人三七、放火二一 放火は男に較べて非常に多く 人、△放火三八人で、殺人と
△窃盗一一一人、△殺人六四 殺人と) 犯罪別に

興味深い統計 ト遙かに多い数字を示してゐ 以下のもの百廿六名に較べる

季皇靈祭 の番組

一日(土曜日) (新京放送局)

一二〇 映 書 製 (東京) 三二〇 映 書 製 (東京) 三味線 **程** 澤 廣 助 三味線 **2** 東京) 三味線 **2** 東京)

ルゼンチン 元・〇〇ニュース (東京) 大・〇〇ニュース (東京)村岡 花子村岡 花子 神岡 花子 六・二〇 今晩の番組

ナカガワ・アルケスタ

流行歌謠曲七

座

附

美ち奴ご楠木繁夫が唄

伴奏 テイチ

7

オ

ケストラ

10°00 北滿の時間 一、講 演 (吟爾演) 一、講 演 (吟爾演)

ちく (瀬 美 ち し 発 ・ エュース (東京) (東京) と (東京) 橘家圓太郎さ 音曲噺

八四〇

組ュー

八三〇

指

八〇五ア

K、BK其の他からも度々放 和落語橋派の幹部で放送もA 和落語橋派の幹部で放送もA 和落語橋派の幹部で放送もA 和落語橋派の幹部で放送もA 送され既にお馴染みです 「都々逸」
「都々逸」
「心を知りたのは漫野の「清弥説明したのは漫野の」
「今しばしやみでくらせより不知臓(軍職人)
かるは涙か族謡か「あたしや海邊の貝敷育ち(文句入) 「大津繪」「港越句」

替り目 んの

後七時新京より

女子 事務員募集履騰書 合寫眞部 電(2)一人〇六 外交員募集 ゲーム取募集 五四三青陽应球場 尚級優適十 **翰隆之年八十** 書間部 後 教授 教授



高 御下宿 三十二一、場所富士町二一、場所富士町二一、朝夕二食 一ヶ月四十圓・五十圓・六十圓 御用のお方は

A 耳通経柱復切符は汽車二 関引、汽船一割引、通用期 間二ケ月 大阪商船株式會社 專屬荷扱所 國際各地運輸會社支店 賞二割引、通用期間三より乗船往復切符は復 電二

●切符發賣所

新興

金

融五創

四四三三三月月月月月月月十十十二一一九七











百稲街六〇二(交通部裏) 電欄等新築中の處今候鍵 電欄等新築中の處今候鍵 白雲 雲雕

ほれつ 宋松接骨院 高等 骨視機 下宿貸間 7

電話金銀聯社及衛興中島屋

社會式株融金和昭

春のお

多中、慣まされた、ひびやあがぎれが、やらやく治つてをります。脂肪が殖へててをります。脂肪が殖へててをります。脂肪が殖へてではありません。然し、このニキビやハタケがなかつたらどんなに美しいなかのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりになるのは、あなたばかりたなるのは、あなたばかりたなるのは、あなたばかりたなるのは、あなたばかりたなるのは、あなたばかりたなるのは、あなたばかりたる。 耳、指先も ものを、續けてお使ひ下され、ゆめ、化粧品の浮氣を 正しく……と云ふのは、適 正しく……と云ふのは、適 正とですが、先が、多少異 とことですが、先が、後温 然で、一見普通の方法をと云ふ はよく泡立て、その泡で洗 はよく泡立て、その泡で洗 はよく泡立て、その泡で洗 を!

も上質のものを吟いたします。顔を手拭でいけません。必ずいたりすることがいたところでこす。

* あことは絶對にいることは絶對にいることは絶對に 而も子女の養育に一段落つい物神の動揺が甚だしい青春期 年) **憎題が深く根を下** が経閉止期で 見ますと 女の犯罪

は駄目

老は頭と皮を剝ぎ榻子

脇を拔いて、庖丁で

電話 東物アリ

(3)四八二八書

、場所 興安大路五二三、 五一一號地 、間収 六疊、六學、三三、 等完備

洗って蒸すと蓋が開

楠木繁夫さん

古賀政男作曲

これ 田の 福海商事

>

新京漁速町二ノー六

金

融

本を選擇して職みはじめますなぜならそんなものばがり額なぜならそんなものばがり額 生方、家庭のお母さんです。 かにもなさけ

美ち奴さん

起一杯、砂糖茶匙一杯 と、椎茸を混ぜ、これ

御飯蒸しで

東大人 金融光お世界到し 電話3四三六八番へ 電話3四三六八番へ 電話3四三六八番へ

灸鍼

あんま

新京永樂町ニノ

第3回人士七年3日人士七年

電等五七六六・三〇三五 第京吉野町二丁月六 第京吉野町二丁月六

犯罪に影響してゐる

人性容貌の美醜

今更新しくいふ といふことが子

にまかせておいては心もとかいか。勿論子供適の讀むまま

子供の本

(どんなものを)

どんな風に讀ませるか

年齢は廿五歳未満、陰には男

に、中江藤樹とか、その他直かの英雄豪傑ばかりではなし 温の胡麻油を溶かして 匙一杯、味の素少々 **増目につけ貝を二つ** お皿に五個盛ります し貝の方を上向に

東京無線 夜 陸 今七三二〇 **韓**通報 明日の番組

大日本報國會副會長大日本報國會副會長大日本報國會副會長大日本報國會副會長 を持ち、高田 體樹 を一、東京) 「中奏」高田 體樹 「東京) 「東京) 「東京) 「中奏」高本 東六 「東京) 暴り がいたい は かっと は かっとし 小鳩の 関きけば いとし 小鳩の 関きけば いき は かなく 散りて行く かった は りて行く まり で がった は りょう は かっと は りょう は しゃ 地 平 緑

1男伊達なら百と世千と世球と停けてその名をのこせ 清水滞は鬼よりこわい 清水滞は鬼よりこわい 大政小政の靡がする と思つられど たが我慢の仕どころだ こゝが我慢の仕どころだ 男伊達なら

二人は若い

H. 美格木繁夫

看板工工个

一二二名募集 トラックに練験あるもの 関歴書持会 大和運輸 大和運輸

陽堂療院 電源。個別 原洋行 運轉手

1司、神戸(大阪)包

人を雇はれるなら カネタバン店の場で、官職、商店

で 要理がや人情がやあきらめ はんに貴方はつみれ方 ほんに貴方はつみれ方 何故立かす

ってるるよい芽を設って、どうか子供達つても、好くも

主義の

まかせ

本知の通りですが、それ 選擇を子供は本の表紙を 題を見て面白さらな目立 題を見て面白さらな目立

*料※※並※立

海老の料理

庭でも大いに注意し

それを伸ばして

定店と時計は

岩間に限る.... 内地みやけるいろいる



一條通四六電3二

(1) 新樂南向溫水優房 新樂南向溫水優房

入船町一ノ九(ダイヤ街橋際)

※本電話店

電話と金融

三、情熱の詩人啄木 金と域との音がする 金と域との音がする

料告版 ◆◆◆◆ 十五被三 行 履行

案內

電話專 新京百貨店二階 新京百貨店二階 一二三〇七 門公益此









変の何ものであるかも知らなくせに、初めて手に入れたのがレナー積奏の百三十五番であった。アパートの一室で一人でピールを飲みながらこ

・先づ、原稿紙商賣から言ふと、御大城島のジャーナリズム、第一號は禿大製で別格とし、小山貞知滿洲評論社長もとしての腕のとさしずめ編輯者としての腕のとさは三河の産西尾體とと大塚令三など萬人共に推す所だ。近來、表面的には「滿安論壇」の執総に力注いでゐる感があるが、近日創刊以來二度数十册に及ぶ『滿洲評論』

岩

心

金

鹽谷壽石

鰻

とか んば 3:0 0

ッシー、ラヴエール、フランクあたりまでさ迷つて、また 再びペートヴエンにもどつて 来たのには自分ながら一寸苦 笑させられる。この百三十五 番のレコードについてはあん まり愉快でない記憶が残つて

△水 藝 何 | 廿醇、卅醇。 (全國藥店にあり)

送和十四

" 哩

一舍

利

色々のプロダクションとやらが、ガルダクトされてるが、ガが早川君こそ、その知き、林檎の類色して亡名優は、『草原学のお正月、関田時彦らを驅使したものなっだ。今年のお正月、関田時彦らを駆使したものなったが、好漢、未だ少年に、本権の類色して、本権の類色して、本権の類色して、と言つては失きだった。

CH

主刀心

ートヴェン百三十五番のレコードを手に入れる。 僕のレコードを手に入れる。 僕のレコードを手に入れる。 僕のレコードを手に入れる。 僕のレコードを手に入れる。 僕のレコードを手に入れる。 様の

第二回の四

た。 学ひ王堂屋がるて、何事に依 をもう噛かされてしまつてるため など、未だ額も見ぬ以前から など、来だ額も見ぬ以前から など、来だ額も見ぬ以前から したのだから、進んで行つて どうしても何かと話を交され ばならない。彼はふだんでも 少し偉いやうな人を見ると。

(14)てくれるので大助かりであった。最初の磯に王は鱧の仕方から、返離の答べ方まで、恰かも春秋二季に「明倫室」でやつた。契、趙温は聴即なたちであつたから、自分でも一時中稽古をしつづけ、朝方までかかつて、一番の禮師は心に率記した大第であつた。程なく、王孝康は暖りから程なく、王孝康は暖りからと、後なく、王孝康は後に埋合大人に「世見」として国けるために四吊の鏡を包ませた。その外に君子の鏡を目輩した。

の男に向つて一つお酔儀をして、大人の所に特 理が、又別に銭一吊を此の男に だ、又別に銭一吊を此の男に だ、又別に銭一吊を此の男に だ、又別に銭一吊を此の男に だ、又別に銭一吊を此の男に だ、又別に銭一吊を除計異へた。 巡捕は 近 とか彼とか文句を言つたので きして男へた。 巡捕は 近 こうと出掛けて行つた。

新くて、少しの銭を置つただけで、別に面倒な事もなくて 持んだわけであつた。 用事が済み、宿に勝つて、 に郷里に勝つた。王孝康は又 たどを教へ、本年に備ふる處

固春向布袋

達用御省內宮 酿吟店商吉恒倉大

mathibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibididinthibidinthibid

滲透療法の

ンや寄生虫に弱く優きますから、内部にかくれたバイキ 機まず、皮膚の探部にな 髓!!

新来歌门電話(多)江四三番



粒三百メ



「もら脚へつてくれ」 便は無理やりに牧師の手を しまつた。外は冷い秋の雨だ つた。今再び此音樂を聞きながら殊にその第三樂章あたり の側々として人を動かす、哀 がらよくもあんな気持になれ たものだと思つてゐる。

H

主義者等、宜しくその爪のカスでも管めていい人物だ、その著『爆破行秘史』は潴鐵社の工作間に知られずにゐる。大島老、隻脚を引きずりつっ大島老、隻脚を引きずりつった。

交をかだったのだっ

な祈禱の能度なんだ」

が往年の冲、

近頃新製のアジア州、横川の同志大島

「ちん、どうしても行かん」 「心配してゐようが、ゐま いが、僕は新礦や讃美歌など の空営を口にしたくなくなつ たのだ」 ちだが。その頃の僕はそんな ことも知る筈もなく、このレ コードを聞きながらその牧師 まつたのだ。 行きたくなくなつたからし

作詩は椎の木へ「牧歌」一篇。此頃の僕の詩はすべて文語である。三十寸ぎてからの抒情詩は自分でもどうかと思ふのだが、自分の路がもう少しはつきりするまでこの状態

か知らんが、在満ナンバー・ ワン全集は『月刊満洲』近来 のヒットであつた、大體に於いて、當を得た選定であつた と思ふのだが、一望ショクの を思ふのだが、一望ショクの なち場から考へると旣成人 I クラスの意重もさる事作ら、 これからの満洲一たらんず若 手群の中から、有爲の候補者 の型は全く彼の創案によるもにくすぼつてはいけないので 大内を探 隆す

隱れ

1:

滿 悉

思ひつくまゝに なだいしかし、『籠の島』 をがあしむかし、『籠の島』 をがあいる映畵が流行つた ながといる映畵が流行つた ながといる映畵が流行つた で、と知る人姓許? の映畵を

本大坂巍氏 先日東京より新京に勝楽した 本間正正一氏 大田東京より新京に勝楽した 本間正正一氏 大田東京より新京美術協會では来る国内 二十九日より三日間に亘り 第二同作品展を開催する、 か品を中心とした試作展で か高を中心とした対作展で か高を明心とした対作展で

下新人探究に行こう でくの今求める満洲第一は 大の如きものである、 ま、現代支那文の響ける男 を良きメンサー が、順稿料の最も気性のである、 は北條たま子君?) は北條たま子君?) は北條たま子君?) は北條たま子君?) 消

栗太郎 のものがある。

病膚皮キュガズム ・菌陰・虫た・虫水

し試おけつーに等 **美味榮養菓子**





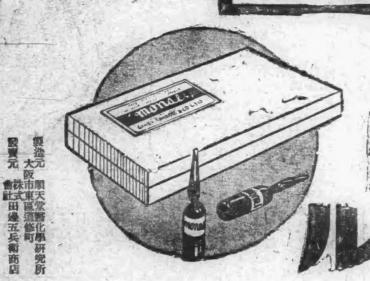
〇慢性モルヒネ中容症の症状と

モルヒネ、ヘロイン、阿片中

毒に就いて

7.00 16.00 也 10管入 部 校 20管八 周 50管入 皮下用 3,30 5,80 1300

X



旅順 市 高 音 野 連 町 万 木 木 町

滿洲國及關東州特約販賣店

世しめ、桑婆健康を習しく恢復せしむ。 帝痛を緩解せしめ、モルヒネ塩類に湯屋せる。 帝痛を緩解せしめ、モルヒネ塩類に湯屋せる。 帝痛を緩解せしめ、モルヒネ塩類に湯屋せる。 ・ 本中毒症より離脱せらる、他方随伴症狀を緩緩 ・ セレめ、桑婆健康を習しく恢復せしむ。 昨の理論に創製せる脳モナールは、禁順福モナールの作用と特徴

題物化して、其の中器症狀を治癒せしむるとと 既き禁節症狀の期間を長時間仰割し可及的安置 の療法が案出されつ」あるも要するに耐へ 反張等の症狀を邑する事は人のよく知る事なり 療法さして既に 叫喚、痙攣、意識涸濁、後弓眩暈、食慾缺乏、嘔吐等あら

秋灰イ、 はモルヒネ塩類を毎日持續的に而も大量使用する事を要量し、之を中間すれば劇烈なる禁節症 を事を要量し、之を中間すれば劇烈なる禁節症 冬の室内医療に 戸外の服装に 定評ある

即ち最初は欠仲、

察署 電話3-2212

中央通



治

療劑

D D

크

記モナリ



木村桐

9

(太子堂際)

和婚桐

醴

道

具式笥



其他土木建築諸材料商

新京ダイヤ街老松町

(日 曜 上)

生化ヘルピンキスト 造花ヤマカミ 骨董 電話||||1九〇名

硝



なり。

引越 荷物 地 荷物 知 識 眼

「電話開通」 井本運送店 電三一 大 和 九 五 五 茶 元 撫順コ 順 炭 礦 製

ス語 伊 東號 (3) H 113

文店

- 12

報

不

要由康美

化衆大。話電內室

現出の機能電上卓型『新最 特本 樹こ 合な 長 摄 局挑價高 2222 一亦御助 丰瘤格尚 殿務座本 御所敷と 家とと離 自低優 庭工帳座

向場場敷 ヂラと機換交 設私 話電の 股一他 の其 いさ下話電御へ店鄭非是は用御のオ

店 16 理 所務工話電美勝

沖津医院 婦人科附屬金院

報政

「國通」義州國海信此

上山醫院 電話3 五七九五番

安護院 产婦·花柳病科

商

倉庫事用3六二六八書

六

疆店

全部 東京 1000 東京 100 鋼谷傳二郎

植医院 花 柳 病 科 電話。 第5 與安大路二一五 九八〇零

婦人科人院随意

婦人科·病室完體 新築 蒂成 疾院

日中 (中央) (

性病科醛 學 士廣本五郎 順天医院 分院機能二十一七一二。院東三馬路石田餐院跡を含うシミパルの同分

太農院 関章 電話3三人三九三九 小兒科事門

差層 電話3三一七一番

のみのコバタ

婦人科·物療科 內科·小兒·産科 中央医院 **産婦人科、花柳病科** 内科、外科、小兒科

電話 3二七六四番 新京富士町二丁目一六

外科。性病科

都

著名醫

院案

M

を程の聽試神づ先 TRADE MARK YMPUS S. M. R. CO-OPERATIVE SOCIETY 合組費消員社鉄滿 所賣販

新聞の前日の出)

新鮮に潑溂 建能玩樣化洋 器 具能性品 帶 人文袋權

朝 日 社 文店 典史 大路四二三番地 大京三條通(新京本本マ横)

自轉車の御用は同和自轉車商會 配3三〇六五・六五六二季 八島通(西公園前)

世帶道具。 加 藤 **陶器店**

返品 自由

生れつきで 顔の寸法は どうにもな はスモカ らぬが せ に遠したい で生れつき めて歯の色

120 TOWN TO SERVICE STATE OF THE PERSON SERVICE STATE 吉野町 二丁目 電話。三八〇五茶 776

宮各殿下御斎房、 多列員宮各殿下御斎房、 多列員

室町

日樂會の

後一時より同校構堂におい策町小郎校に於ては廿日午

降したる。畑地に不

と就て説明申上 と就て説明申上

本の正籍御降下のため皇城 関の下に御開催あらせら 関は廿日午前十時中より 関は廿日午前十時中より 関の下に御開催あらせら

一、動一等博英王殿下に 家名を賜ひ華族に列せ らるの件 ・ 動一等正彦王殿下に 家名を賜ひ華族に列せ

王、朝香軍事參議官宮殿 總長宮殿下第四王子博英 總長宮殿下第四王子博英

力捜査を進めてゐる

の家賃五百七十三萬九千圓 一附屬地の家屋調べ

消えた流線型車は 鐵・道・西・で・發・見

表支陽口のところで大格曜の 上現行犯人逮捕の大手柄を立 てたが犯人は手にしてゐた帽 子の中に毛絲製手袋三足時價 ころであつた、賊は河北省生 ころであつた、賊は河北省生 といふ邦人百貨 店臭服雞貨部を徘徊する暴動 不審の滿人がゐるのを同店員 不審の滿人がゐるのを同店員 らんとしたので直ちに追跡し 受険列場前で手早く手袋を三

強かものであった 來る廿六日

なものとして引き被き盛況が をものとして引き被き盛況が をものとして引き被き盛況が を想される、開資期は明廿二 日限り晝夜二回公演、本紙愛

清津飛 使用禁止

自轉

蓝 科医学 須賜之助婦人科医学 河野省二

大泉議長、町内聯合會からは大泉議長、町内聯合會から小大泉議長、町内聯合會から小松會長並に小澤區長、特別市公署から植田總務處長、同平野村さん例によって大雄辯を担けて、数ぶところを流石に感激したと見えてその摩もおろく、と見えてその摩もおろく、世界でが威福つてほろりとした。

時から大和ホテル會議室に於て第一回滿州礦薬開發會社では二十日午前十一 務主任には恐

株主總會

正直馬車夫の 善行表彰式 廿八日學行

では來る二十八日午前十時よ 十八件にも及びまことに王道 業土の建設へ躍進する満洲國 にふさわしい佳話とされてゐ る、尙善行表彰は右件數の5 ちより貴重品と認むべきもの の七十三名に對して行はれる

氏の校長就任は確定的である。
所主任には沿線某小學校から

内地より社任し事

り首都警察監備堂に於て組合 員の善行表彰狀並に徽章の授 見の善行表彰狀並に徽章の授 見の事行表彰狀並に徽章の授 明式を舉行するが苦力にも等 見に車夫達が康徳二年一月よ り今日まで從業中薬名の遺留

案を可決午後五時頃閉會し

衛戌地に歸還

日

###

晝夜二回

於記念公會堂

【東京図通】廿日午前十一時四十分成骸司令官の指揮下にありし字和宮 高崎 水戸 松木より上京中の部隊は本廿日 各本その衝戍地に雕湿せしめらる」こととなれり

員滿

旭齊天

勝

座

に倶樂部及び事務所を開設し に倶樂部及び事務所を開設し 白系賞人事務局では今回正式 白露事務局

禮御

援 後

新京日

H

新

聞社

滿鐵

祉

絢爛の豪華版!

大勝

一座好評

新京普通學校第九回卒業式は を含二十三日午前十時より同 を表記で學行されることにな 普通學校卒業式

本日午後二

開場

開場致して居ります

テ

力

公舎党理事會 新京記念公舎党理事會 新京記念公舎党昭和十一年度實行養算

三時から記念公會堂に於て開

本社後援魔術天勝一座は二十年大社後援魔術天勝一座は二十年大力記念公會堂において、大物館の舞合面を展開したが、一年のな前人気に傷られて果然に発めな好評を博し盛況を呈した。慶富な番組と豪華な神

た は左足左腕に打撲駆傷を負つ は左足左腕に打撲駆傷を負っ

ト明日限り

新京西廣場小學校の本年度卒 年前十時から同校講堂にて季 年前十時から同校講堂にて季 西廣場校卒業式

特別大賣出

医博深町穗積

今回の移動に依り新京市民よ り惜まれて勇退した前新京響 民の感謝没別會は廿一日午後 民の感謝没別會は廿一日午後 大時半よりダイや街一つ家に 大時半よりダイや街一つ家に 廣石氏送別會 寧 銀銀 DI t刀

番品品兒三話電

一 ズブリングコー

スス服ト

大大六六五〇四五

町醫院

曹主催の下に行はれる事にな

尚特賣中仕立は特に大勉强! 致します 致します 地賣出品種に應じ一割乃至四割の割引を

午後聯任挨拶のため塔尾警部新京署長躩石都勝氏は二十日 廣石氏來社

機械床

未店 整(3)Ⅲ四九八番

御望の方は

六曼、二間別に十曼の雕聞あり

數所

羽衣町四丁目

八學四半(應接間)

二二九〇香

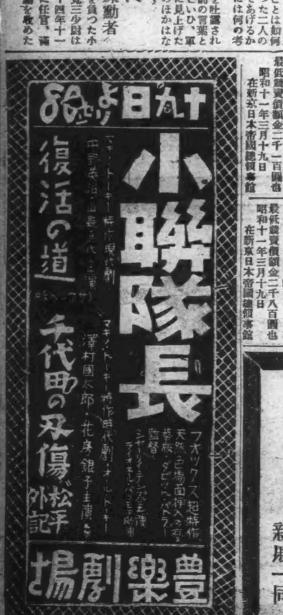
電心三九〇〇番

兒玉疊商店

競賣期日公告

左記表示ノ不動整へ竹内いと が有ノトコロ抵賞編者出本キ アノノ申立二因リ教育ニ付ス

春季皇靈祭の催し 二十二日(午後一時半まり) and an an an an an ヒルマは十銭ダンス ヒルマは十銭ダンス



宅に於て執行される領である 十八日午後八時ごろ新京百 新京百貨店員 萬引を捕ふ

青年學校卒業式

するので生徒は萬韓難合せて ・後六時半から卒業式を撃行

研究中の菌に感染 高橋博

何等故障なく悪戯者の仕業か

新

現在の經過順調氣遣ひなり

昨朝薨去さる

育に專念せられてゐたもので。 親王と御結婚、能久親王薨去 の後は王子王女殿下達の御婆 の ある追て要御殿は御遺骸の京 研究室でチブス菌の試薬製造

日滿軍人會館

四 始するので生徒の分離、数量 の分配等に忙殺されてゐる、 の分配等に忙殺されてゐる、 は十九日それぞれ右通知狀を は十九日それぞれ右通知狀を で第二學年への轉學生百三名に は十九日それぞれ右通知狀を 一名(五學級)事務主任一名 は満銭本証で略々決定されて あるが未だ公表に至らない仄 あるが未だ公表に至らない仄 あるが未だ公表に至らない仄 あるが未だ公表に至らない仄

衣勇士凱旋

ニ十一日午

段市民の多數見送りを希望してゐる

今日開館式

【東京園通】北白川宮大妃富 子殿下には葉山御川邸で心臓 性喘息御療養中のところ昨日 性喘息御療養中のところ昨日 らせられ間もなく全く御危篤

伏見、朝香兩若宮殿下 臣籍御降下

皇族 會議で何可決一等等 然課長等級列すれば 天本等数 熱課長等級列すれば 天本等数 熱課長等級列すれば 天本等数 熱性に出御の皇室 議長席につかぜられたの皇室 満長席につかぜられたの皇室 満くて去る十一日福物顕すより 間の御路論を継たる

開校準備進行

滿蒙開發犧牲者遺族救恤に

高等女學校と分離、授業を開一吏にして滿濃開發の騒性となる者又は現役入職中の在滿紙不会、來月二日新學期から第一 滴鏡、總局警備員及び警察官 傷柄死者の遺跡中生活困難な新京第二高等女學校ではいよ 滿鏡は今回在滿鷹軍人、軍屬一つた戰傷病者及びこれ等戦死 濫鐵が五萬圓寄贈

会として金五萬國を國防婦人 金として金五萬國を國防婦人

中九日夜新京郊外寛城子附近、火傷を負む生命危臨に陷った所で東半、八郎の二は同夜七時五十分集論飛行の 命危郷、秀少尉は生台に別状 電類學生として毎年生産を飛行中突如愛動機に故 小林大尉の略底 で選手として毎年生産を飛行中突如愛動機に故 小林大尉の略底 電類學生として毎年生産を明確を生じ直ちに寛城子東南方 十九日夜寛城子附近に墜落頭 に貞子、八郎の二郎を生じ直ちに寛城子東南方 十九日夜寛城子附近に墜落頭 に貞子、八郎の二郎を生じ直ちに寛城子附近に墜落頭 に貞子、八郎の二郎を生じ直ちに寛城子附近に墜落頭 に貞子、八郎の二郎を生じ直ちに下海が東地大大尉の略に陥った所 活躍して来た男士である。因 なに同大尉は大正七、八年シ 本業した模範飛行將校で家庭 で業型生として優秀な成績で 本業した模範飛行將校で家庭 00飛行際附よ

小林大尉危篤

小林機墜落後報

に貞子、八郎の二子がゐる にはあい子夫人(IITI)との

申譯ない*

宅に萬一の事があつたら私 をして爲すべきことは如何 にして爲すべきことは如何 にして爲すべきことは如何 にして爲すべきことは如何 といふことで外には何の考 たの妻として誠に育てあげるか 大家であつません 人の妻として誠に見いひ、軍 との書葉として誠にしいひ、軍 をりますにあります。 でありません

日時 年前十一年四月七日 新費期日 中部十一年四月七日 者 代理 宗 質 不

會葬御禮 松尾錚一

親戚一同

でなりいやあ、五六千臓も蛇が てさらいやあ、五六千臓も蛇が

笑ひをおべた。そして

押し殴したやうな笑ひ吹をもちし

んな大きな場が開けてゐたのかし

罪げられたつてえぢやないか。」

「あれは、みんなしろうと欲な

お黙はそれを聞くと、ふと砂なのかい?」

「しかし、所聞で見ると四五人

動りして、そのまゝ製の方へ附えた。が、その起我は、師の歌を紫

情太郎は何かいはうとしたが、

とつた。

ふといを眠んだる ごとり

ちらほうかなっしと、野ば相関の

「ほ」う、そいつは随を見せて

大阪市東區遺俗町

藤澤友吉

商店

支店■東京、京越、大郷

大ものが集つてゐたんだからね。

の見世物がどんな種類のものかさ

建博士著

「喘息の治療方針」

も一本吸びつけながら、『だけど 『でも、展の

「帝気地なしれ」おいは自分で

でも、僕の強いたあれ、野が

•支 店 設 置 都 市に率先して即時決行あれ

市

つたく独観へ降か時にはほつとし、かつたら着く押るところだつたよ

のよっ」

だいと思ったけど。こうを続せた

しないんだけど、七番目の輪とい

紫

水

雨

師

(A)

特太郎は女の機械が直ったのを ひどく客つてるね。」 ・ まっぱ (五) 銀 (五) 小门 (禁止映) 殺 森 茅 技

たっ女は観色のライターをかちッ とならして発出した。 であの時、離から帰壁を消して いののは、 なったからよかつたもの へってな れよりも、所信の場合板のあれ、脚だいと」 つた? だつたら、映して返事なんかしや を聞いておくんだもの を描いておくんだもの一一他の奴がんなところへが似で、あんなこと 消しといてくれたらうれる 『あゝ、冷しといたよ。』 「気がつかなかつたね。」

見ると、意にくつろいだ気状にな

「有能り、」耕太郎はタバコを

也村



本

その時、また部でを辿って奥のかへゆく足音が聞こえたっそれもかでは三四人の足音が聞こえたっそれも 想せてくれたから、すぐあの姐に だと思つた。 選連で子既らしい字 あれで中々気が利いてよ、電話で 此等三種薬剤の協同作用に基 最も弱力なる「パパペリン」 節靜脈の痙攣を緩解する薬物中

士)

「エフェドリン」「脳下垂體後葉 理想的藥剤「アドレナリン」及

ホルモンし

肺毛細血管の収縮及滲出抑制の

趣する甲狀腺剤

でないらとの演まないと思って、

大方陽医へ窓のびちまつたの。だやうよ。だけど、腕翼をふるつて

ら、今んとこ、観の倒もあたし

「理想的最優秀喘息治療劑」な 等副作用なく完全に共目的を達し得る より一層顕著なる効果を發揮し面も何

一向申越次第贈品 42.4

肺組織の喘息毒物破壞作用を増 投载大帝都京 士 博 學 医

食道樂

飛話3二





●鰻かば焼ト丼● 味覺で立つ== 靑 側照會切手十銭を要す

滿洲總代理店

あ

か船

電話へ

新京室町三丁目三番地ノ三

青 鹿谷齒科

春の 新 命 は **大** 豐富着荷 村岡冥服 當店

店小賣店大募集す好機再び來らず他失端的營業成功保證す満州全國に支時代に最も適し將來も益々有望なる **側相談に應じます** 側相談に應じます の場所、準川、海拉爾、札闌屯、愛選 系勢、大板上、二奈腐、準川、海拉爾、札闌屯、愛選 新京、吉林、哈爾濱、樂天、延吉、安東、錦州、遼區 軍話(三)三八五八番

専賣品に

内 中花皮神外毒病科科科科科 新京室町二丁目(松剛轍) 島醫院





